

4. 活動報告

4.1 サブプロジェクト (c) 運営委員会議事録

(1) 第1回(平成29年度第1回)

1. 日時 平成29年7月25日(火)10時00分～13時00分
2. 場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館 N棟 2階 建築学科大会議室
3. 議題
 - (1) 事業概要説明会議事録確認
 - (2) 今年度の業務計画
 - (3) 各課題研究会報告(今年度研究計画等)
 - (4) サブプロ(C)のチラシ
 - (5) 研究成果の社会還元方策その他(今後の日程等)
4. 配付資料
 - 1-1 事業概要説明会議事録(案)
 - 1-2 平成29年度業務計画書
 - 1-3 研究会審議内容
 - 1-3-1 ① 簡易・広域センシングを用いた広域被害推定・危険度判定
 - 1-3-2 ② 災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定
 - 1-3-3 ③ 災害時重要施設の高機能設備性能評価と機能損失判定
 - 1-3-4 ④ 室内空間における機能維持
 - 1-3-5 ⑤ データ収集・整備と被害推定システム構築のためのデータ管理・利活用検討
 - 1-4 サブプロ(C)チラシ(案)
 - 1-5 委員名簿および会議開催予定

5. 出席者

	氏名	所属
研究統括	西谷 章	早稲田大学 理工学術院
研究統括	梶原 浩一	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	長江 拓也	国立大学法人名古屋大学 減災連携研究センター
委員	楠 浩一	国立大学法人東京大学 地震研究所
委員	倉田 真宏	国立大学法人京都大学 防災研究所
委員	佐藤 栄児	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員(事務局)	林 和宏	国立大学法人豊橋技術科学大学大学院 工学研究科

6. 議事概要

- ・ 事業概要説明会議事録(案)を確認した。
- ・ 平成29年度業務計画書により本年度の業務を確認した。
- ・ 課題①における簡易・広域センシングを用いた広域被害推定・危険度判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題②における災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判

定について説明があり、議論した。

- ・ 課題③における災害時重要施設の高機能設備性能評価と機能損失判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題④における室内空間における機能維持について説明があり、議論した。
- ・ 課題⑤におけるデータ収集・整備と被害推定システム構築のためのデータ管理・利活用検討について説明があり、議論した。
- ・ サブプロジェクト(C)のチラシ(案)が事務局より提示された。
- ・ 委員名簿および今年度の運営委員会の開催日時を確認した。

第 02 回 (平成 29 年度 第 2 回) = 12/15 (金) 13:00~16:00

第 03 回 (平成 29 年度 第 3 回) = 2/16 (金) 16:00~19:00

(2) 第 2 回 (平成 29 年度 第 2 回)

1. 日 時 平成 29 年 12 月 15 日 (金) 13 時 00 分 ~ 16 時 00 分
2. 場 所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55 号館 S 棟 6 階 首都圏レジリエンス PJ 会議室
3. 議 題
 - (1) 前回議事録確認
 - (2) 各課題研究会報告(今年度の研究進行状況、日米共同研究等)
 - (3) 首都圏レジリエンスプロジェクト全体の状況
 - (4) その他(今後の日程等)
4. 配付資料
 - 2-1 前回議事録(案)
 - 2-2 研究会審議内容
 - 2-2-1 ① 簡易・広域センシングを用いた広域被害推定・危険度判定
 - 2-2-2 ② 災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定
 - 2-2-3 ③ 災害時重要施設の高機能設備性能評価と機能損失判定
 - 2-2-4 ④ 室内空間における機能維持
 - 2-2-5 ⑤ データ収集・整備と被害推定システム構築のためのデータ管理・利活用検討
 - 2-3 首都圏レジリエンスプロジェクト全体の状況と今後の予定について
5. 出席者

	氏 名	所 属
研究統括	西谷 章	早稲田大学 理工学術院
研究統括	梶原 浩一	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	長江 拓也	国立大学法人名古屋大学 減災連携研究センター
委員	楠 浩一	国立大学法人東京大学 地震研究所
委員	佐藤 栄児	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	河又 洋介	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員(事務局)	林 和宏	国立大学法人豊橋技術科学大学大学院 工学研究科

6. 議事概要

- ・ 前回議事録(案)を確認した。
- ・ 課題①における簡易・広域センシングを用いた広域被害推定・危険度判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題②における災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題③における災害時重要施設の高機能設備性能評価と機能損失判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題④における室内空間における機能維持について説明があり、議論した。
- ・ 課題⑤におけるデータ収集・整備と被害推定システム構築のためのデータ管理・利活用検討について説明があり、議論した。
- ・ 首都圏レジリエンスプロジェクト全体の状況と今後の予定が事務局より提示された。
- ・ 今年度の運営委員会の開催日時を確認した。

第 03 回 (平成 29 年度 第 3 回) = 2/27 (火) 15:00~18:00

(3) 第 3 回 (平成 29 年度 第 3 回)

1. 日 時 平成 30 年 2 月 27 日 (金) 15 時 00 分 ~ 18 時 00 分
2. 場 所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55 号館 S 棟 6 階 首都圏レジリエンス PJ 会議室
3. 議 題
 - (1) 前回議事録確認
 - (2) 各課題研究会報告(今年度の研究進行状況と次年度の研究計画等)
 - (3) その他(建築学会大会投稿、次年度の日程等)
4. 配付資料
 - 3-1 前回議事録(案)
 - 3-2 研究会審議内容
 - 3-2-1 ⑤ データ収集・整備と被害推定システム構築のためのデータ管理・利活用検討
 - 3-2-2 ① 簡易・広域センシングを用いた広域被害推定・危険度判定
 - 3-2-3 ② 災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定
 - 3-2-4 ④ 室内空間における機能維持
 - 3-3 学会投稿論文について

5. 出席者

	氏 名	所 属
研究統括	西谷 章	早稲田大学 理工学術院
研究統括	梶原 浩一	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	長江 拓也	国立大学法人名古屋大学 減災連携研究センター
委員	楠 浩一	国立大学法人東京大学 地震研究所

委員	井上 貴仁	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	佐藤 栄児	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	中村 いずみ	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
委員	河又 洋介	(国) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
オブザーバー	渋谷 昌彦	文部科学省研究開発局 地震・防災研究課防災科学技術推進室
オブザーバー	金子 雅彦	文部科学省研究開発局 地震・防災研究課防災科学技術推進室
オブザーバー	平田 容章	(国) 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター
オブザーバー	松戸 勉	(国) 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター
委員(事務局)	林 和宏	国立大学法人豊橋技術科学大学大学院 工学研究科

6. 議事概要

- ・ 前回議事録(案)を確認した。
- ・ 課題⑤におけるデータ収集・整備と被害推定システム構築のためのデータ管理・利活用検討について説明があり、議論した。
- ・ 課題①における簡易・広域センシングを用いた広域被害推定・危険度判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題②における災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題③における災害時重要施設の高機能設備性能評価と機能損失判定について説明があり、議論した。
- ・ 課題④における室内空間における機能維持について説明があり、議論した。
- ・ 学会投稿論文・梗概に関して、謝辞記載例を周知した。
- ・ E-ディフェンス実験実施にあたり、計測データの公開方針を周知確認した。
- ・ 次年度の運営委員会開催方針を確認した。開催は年3回(5月末～6月上旬、9月下旬、2月下旬)とし、候補日を出欠アンケートにより確定することとした。

4.2 対外発表

1) 学会等における口頭・ポスター発表

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所 （学会等名）	発表時期	国際・国内の別
耐力向上と損傷抑制を目的とした壁縦筋を定着しない袖壁付柱部材の開発研究（その1）実験計画、口頭	椿美咲子，張政，真田靖士，楠浩一，日比野陽，向井智久	日本建築学会学術講演梗概集	2018年9月 （投稿中）	国内
耐力向上と損傷抑制を目的とした壁縦筋を定着しない袖壁付柱部材の開発研究（その2）実験結果、口頭	張政，真田靖士，楠浩一，日比野陽，向井智久	日本建築学会学術講演梗概集	2018年9月 （投稿中）	国内
壁筋の定着を除去した二次壁を有する鉄筋コンクリート梁部材の耐震性能評価，口頭発表	森悠吾，日比野陽，楠浩一，真田靖士，向井智久	日本建築学会大会学術講演会	2018年9月 （投稿中）	国内

2) 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所 （雑誌等名）	発表時期	国際・国内の別
限られた階の加速度記録のみに基づく3次元スプライン補間による建物全層の応答推定	小寺健三 西谷章	日本建築学会構造系論文集 No.746	2018年4月	国内

3) マスコミ等における報道・掲載

報道・掲載された成果 （記事タイトル）	発表者氏名	発表場所 （新聞名・TV名）	発表時期	国際・国内の別
地震防災スペシャル対談：地震後のビルの健全性を判定 構造ヘルスマニタリング	西谷章 白石理人	読売新聞鹿児島版	2017年1月 20日	国内